



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限(2017年5月26日設定)	
運用方針	当ファンドは、主としてスパークス・アジア厳選投資マザーファンドを通じて、アジア(除く日本)の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	アジア企業(除く日本)の株式またはアジア地域(除く日本)の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド	① 株式等への実質投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	① 株式等への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 	

スパークス・新・国際優良 アジア株ファンド

愛称 **アジア厳選投資** 特化型

第5期 運用報告書(全体版)
(決算日 2022年5月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・新・国際優良アジア株ファンド』は、このたび、第5期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

＜ お問い合わせ先 ＞

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
(設定日) 2017年5月26日	円 10,000	円 —	% —	1,206.74	% —	% —	百万円 434
1期(2018年5月25日)	10,875	0	8.8	1,395.14	15.6	91.4	887
2期(2019年5月27日)	9,727	0	△10.6	1,237.41	△11.3	95.4	690
3期(2020年5月25日)	9,429	0	△3.1	1,194.69	△3.5	94.3	502
4期(2021年5月25日)	15,069	0	59.8	1,836.53	53.7	92.6	766
5期(2022年5月25日)	11,622	0	△22.9	1,625.28	△11.5	97.2	544

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注3) 設定日のMSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース) は、設定日前営業日(2017年5月25日)の値です。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注5) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)」です。

(注6) MSCI AC Asia ex Japan Indexは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除くアジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)		株 式 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2021年 5月25日	円 15,069	% —	1,836.53	% —	% 92.6
5月末	15,499	2.9	1,882.01	2.5	93.3
6月末	16,096	6.8	1,907.80	3.9	94.8
7月末	14,947	△ 0.8	1,746.02	△ 4.9	95.4
8月末	15,038	△ 0.2	1,788.28	△ 2.6	96.1
9月末	15,300	1.5	1,740.84	△ 5.2	97.9
10月末	15,909	5.6	1,803.31	△ 1.8	98.8
11月末	15,099	0.2	1,726.33	△ 6.0	99.0
12月末	14,089	△ 6.5	1,760.39	△ 4.1	99.1
2022年 1月末	13,231	△12.2	1,721.45	△ 6.3	99.5
2月末	12,723	△15.6	1,680.57	△ 8.5	99.4
3月末	13,177	△12.6	1,722.52	△ 6.2	98.1
4月末	12,292	△18.4	1,721.00	△ 6.3	97.7
(期 末) 2022年 5月25日	11,622	△22.9	1,625.28	△11.5	97.2

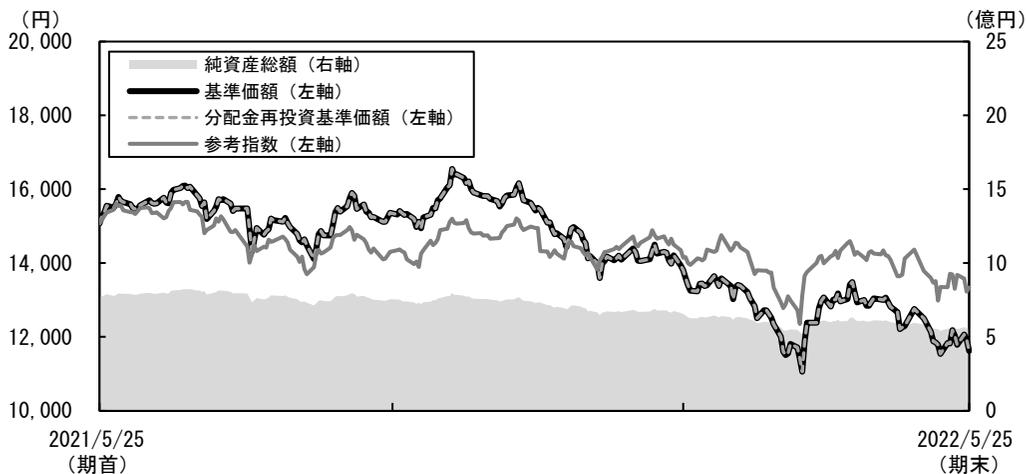
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2021年5月26日～2022年5月25日)

基準価額は期首に比べ△22.9%(分配金再投資ベース)の下落となりました。



第 5 期 首 : 15,069 円

第 5 期 末 : 11,622 円 (既払分配金0円)

騰 落 率 : △22.9% (分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。
- ※ 参考指数は期首(2021年5月25日)の基準価額に合わせて指数化しております。

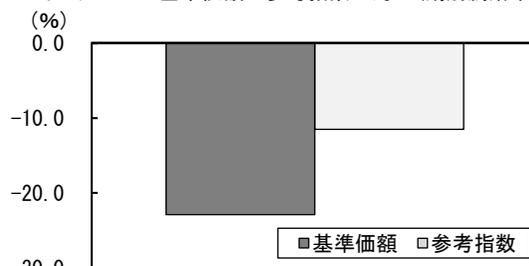
2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、アジアの優良企業への厳選投資を行いました。当ファンドが投資している多くの市場の通貨は日本円に対して上昇し、基準価額の上昇要因となりました。また、香港市場や米国上場の中国株の下落が、基準価額の下落要因となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



第5期

(2021/5/26 ~ 2022/5/25)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

スタグフレーション発生のリスクが顕在化してきたこと、上海において新型コロナウイルス感染抑制のためロックダウン(都市封鎖)が実施されていること、ロシア軍のウクライナ侵攻に収束の見通しが見えないことなどにより、多くの市場は下落しました。また、多くの通貨が円に対し上昇しました。

2022年初にはFRB(米国連邦準備制度理事会)高官が、インフレ率の上昇を抑え込むため、利上げを2022年中に前倒しで実施する可能性があると言いました。この発言を受けてグロース株からバリュエーション株への入れ替えが進み、グロース株が下落しました。とりわけ変動が大きかったのがテクノロジーセクターで、成長性は引き続き前向きに受け止められているものの、バリュエーションの高さが不安視されたことから下落しました。一方、中国ではPMI(購買担当者景気指数)や小売売上高といった経済指標から経済成長の鈍化傾向が鮮明となり、一段の金融緩和(利下げ)が発表されました。新型コロナウイルスの感染拡大、不動産セクターの業績不振、消費支出の低迷を背景に、中国A株市場ではヘルスケアセクター、情報技術セクター、再生可能エネルギーセクターを中心に急落しました。グロース株からバリュエーション株への入れ替えは、株式指数における情報技術セクターの配分比率が高い韓国や台湾の市場にも影響を及ぼしました。

■ ポートフォリオ

<スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドを通じて、アジア(除く日本)の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

<スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視しました。企業のファンダメンタルズを見極め、投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資しました。

(主なプラス要因)

インド最大の電力取引所を運営しているIndian Energy Exchange Ltd.(インド/各種金融)は上昇しました。同社は市場シェアをほぼ独占しています。同取引所は11日間までの短期契約に特化しています。インドの電力取引ではこれまで、買主と売主が個別に締結する長期購入契約が主流でした。電力消費者や送配電業者は一般にピーク需要量で契約を締結するリスクを避けるため、ベースロード需要は長期市場で賄い、短期契約は一時的な不足を補うためだけに使用するのが一般的です。したがって、経済減速の兆しが現れると真っ先に供給量の増加分を減らしたいという心理が働き、短期電力市場の需要の振れ幅が拡大する傾向があります。しかし、インドの電力市場では、送電能力が増強されて混雑が緩和されたり電力取引所が登場したことなどの要因で構造転換が進み、短期契約の活用が拡大しています。

(主なマイナス要因)

Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A(シンガポール/メディア・娯楽)の2021年第3四半期(7-9月)決算は、eコマース(電子商取引)事業が予想を上回って業績に貢献しましたが、ゲーム事業の通期計画を上方修正しなかったことで市場に失望感が流れ、ゲーム事業の成長性に対する懸念が高まり下落しました。同社の業績発表に続いて米国のテクノロジー関連銘柄全般が下落したことも、同社株の下落幅の拡大要因になりました。

WuXi AppTec Co., Ltd. Class H(中国/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)とWuxi Biologics (Cayman) Inc.(中国/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)は、米国政府が「中国軍と関係のある中国の一部バイオテクノロジー関連企業を商務省の取引禁止リストに記載する」という噂が市場関係者の間に広がったため下落しました。両社と他の中国系製造請負企業(CDMO)は、噂

が流れた当日に「中国軍関連企業との取引関係はない」という趣旨の声明を発表しましたが、両社の株価は15-20%下落しました。結局、取引禁止リストに記載されるのは中国軍が所有する研究機関であることが判明し、両社の株価は多少回復しましたが、市場心理の悪化を受け、全面的回復には至りませんでした。

■ 今後の運用方針

<スパークス・新・国際優良アジア株ファンド>

引き続き、マザーファンドへの投資を通じて、アジアの優良企業への厳選投資を行います。アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視します。企業のファンダメンタルズを見極め、次なる投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資します。

<スパークス・アジア厳選投資マザーファンド>

引き続き、アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視します。企業のファンダメンタルズを見極め、次なる投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資します。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針および今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

【 分配原資の内訳 】

(単位: 円 1万口当たり・税込み)

項 目	第5期 (2021年5月26日～ 2022年5月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,264

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2021年5月26日～2022年5月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	278円 (143) (127) (8)	1.924% (0.990) (0.879) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.014 (0.014)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.007 (0.007)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用)	40 (24) (1) (15)	0.277 (0.166) (0.007) (0.104)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・法定書類等の作成、印刷費用
合 計	321	2.222	

期中の平均基準価額は14,450円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

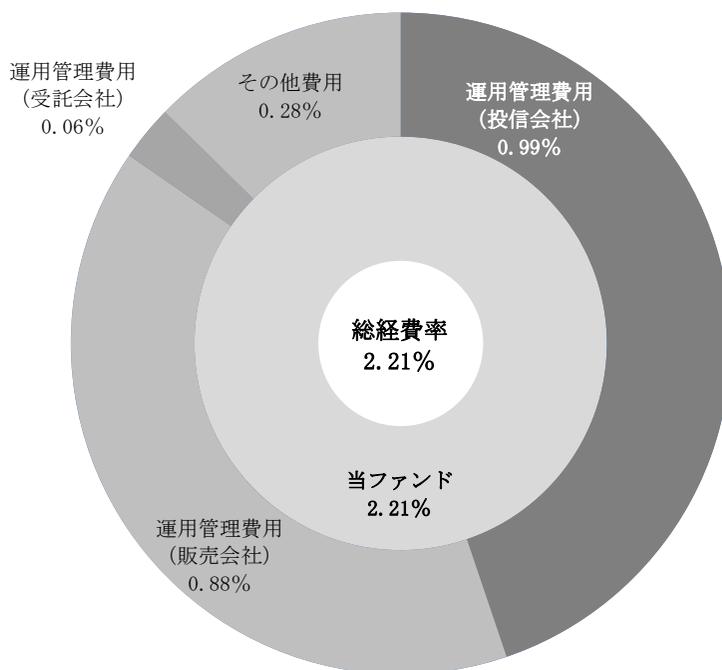
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年5月26日から2022年5月25日まで)

項 目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	105,971	185,988	148,602	259,504

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	70,353千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,474,897千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.04

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 親投資信託における主要な売買銘柄 (2021年5月26日から2022年5月25日まで)

株 式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ICICI Lombard General Insurance Co. Ltd.(インド)	14.945	33,492	2,241	Indian Energy Exchange Ltd.(インド)	19.797	6,897	348
Medlive Technology Co., Ltd.(香港)	23	10,191	443	Vipshop Holdings Ltd Sponsored ADR(アメリカ)	5.4	5,526	1,023
				Noah Holdings Ltd. Sponsored ADR Class A(アメリカ)	1.3	3,947	3,036
				Bilibili, Inc. Sponsored ADR Class Z(アメリカ)	1.1	3,891	3,537
				PT Nippon Indosari Corpindo Tbk(インドネシア)	306.5	3,433	11
				Philippine Seven Corporation(フィリピン)	19.74	2,973	150

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年5月26日から2022年5月25日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2021年5月26日から2022年5月25日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2021年5月26日から2022年5月25日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2022年5月25日現在)

親投資信託残高

項 目	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	432,104	389,473	542,965

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2022年5月25日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2022年5月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
スパークス・アジア厳選投資マザーファンド	542,965	98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,818	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	551,783	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月25日における邦貨換算レートは、1中国元=19.0569円、1香港ドル=16.18円、1インドネシアルピア=0.0087円、1インドルピー=1.65円、1韓国ウォン=0.1006円、1フィリピンペソ=2.4263円、1シンガポールドル=92.53円、1新台幣ドル=4.2895円、1アメリカドル=126.98円です。

(注2) スパークス・アジア厳選投資マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(1,195,878千円)の投資信託財産総額(1,202,693千円)に対する比率は99.4%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年5月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	551,783,453 円
コール・ローン等	7,394,176
スパークス・アジア厳選投資 マザーファンド(評価額)	542,965,037
未 収 入 金	1,424,240
(B)負 債	7,740,715
未 払 解 約 金	1,424,240
未 払 信 託 報 酬	5,975,134
未 払 利 息	20
そ の 他 未 払 費 用	341,321
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	544,042,738
元 本	468,106,248
次 期 繰 越 損 益 金	75,936,490
(D)受 益 権 総 口 数	468,106,248 口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,622 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額	508,915,194 円
期中追加設定元本額	125,517,104 円
期中一部解約元本額	166,326,050 円

■ 損益の状況

当期 (自2021年5月26日 至2022年5月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 2,637 円
支 払 利 息	△ 2,637
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 143,914,040
売 買 損 益	12,546,061
売 買 損 益	△ 156,460,101
(C)信 託 報 酬 等	△ 14,219,441
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 158,136,118
(E)前 期 繰 越 損 益 金	107,978,426
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	126,094,182
(配 当 等 相 当 額)	(44,728,409)
(売 買 損 益 相 当 額)	(81,365,773)
(G)合 計 (D + E + F)	75,936,490
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	75,936,490
追 加 信 託 差 損 益 金	126,094,182
(配 当 等 相 当 額)	(44,845,864)
(売 買 損 益 相 当 額)	(81,248,318)
分 配 準 備 積 立 金	107,978,426
繰 越 損 益 金	△ 158,136,118

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 5 期
費用控除後の配当等収益額	A	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	－円
収益調整金額	C	44,845,864円
分配準備積立金額	D	107,978,426円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	152,824,290円
当ファンドの期末残存口数	F	468,106,248口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	3,264.73円
1万口当たり分配金額	H	－円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	－円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	－円
----------------	----

■ お知らせ

該当事項はありません。

- ※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。
- ※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

< 補足情報 >

■ 組入資産の明細 (2022年5月25日現在)

下記は、スパークス・アジア厳選投資マザーファンド全体(861,703千口)の内容です。

外国株式

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等		
		株 数	株 数	評 価 額			
				外貨建金額		邦貨換算金額	
(中国)		百株	百株	千中国元	千円		
Jonjee Hi-Tech Industrial and Commercial Holding Co., Ltd. Class A		324	324	791	15,084	食品・飲料・タバコ	
小 計		株 数 ・ 金 額	324	791	15,084		
		銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 1.3% >	
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円		
Li Ning Company Limited		400	400	2,090	33,816	耐久消費財・アパレル	
Ping An Healthcare and Technology Company Limited		104	104	198	3,203	小売	
JD.com, Inc. Class A		—	7	155	2,514	小売	
Yihai International Holding Ltd.		250	250	532	8,615	食品・飲料・タバコ	
Medlive Technology Co., Ltd.		—	230	191	3,099	ヘルスケア機器・サービス	
WuXi AppTec Co., Ltd. Class H		322	386	3,458	55,954	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
Wuxi Biologics (Cayman) Inc.		660	660	3,504	56,704	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AIA Group Limited		1,040	1,040	8,013	129,653	保険	
Tencent Holdings Ltd.		162	162	5,475	88,595	メディア・娯楽	
小 計		株 数 ・ 金 額	2,938	3,240	23,619	382,158	
		銘柄数 < 比率 >	7	9	—	< 31.8% >	
(インドネシア)		百株	百株	千インドネシアルピア	千円		
PT Nippon Indosari Corpindo Tbk		105,032	101,967	13,153,743	114,437	食品・飲料・タバコ	
小 計		株 数 ・ 金 額	105,032	101,967	13,153,743	114,437	
		銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 9.5% >	
(インド)		百株	百株	千インドルピー	千円		
Reliance Industries Limited		79	79	20,877	34,447	エネルギー	
Kotak Mahindra Bank Limited		118	118	22,269	36,744	銀行	
HDFC Bank Limited		155	155	20,524	33,864	銀行	
Indian Energy Exchange Ltd.		837	2,314	44,414	73,284	各種金融	
ICICI Lombard General Insurance Co. Ltd.		—	149	18,114	29,889	保険	
小 計		株 数 ・ 金 額	1,191	2,817	126,200	208,230	
		銘柄数 < 比率 >	4	5	—	< 17.3% >	
(韓国)		百株	百株	千韓国ウォン	千円		
DOUZONE BIZON CO.LTD		15	15	57,756	5,810	ソフトウェア・サービス	
Samsung Electronics Co., Ltd.		137	137	914,973	92,046	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計		株 数 ・ 金 額	152	152	972,729	97,856	
		銘柄数 < 比率 >	2	2	—	< 8.1% >	
(フィリピン)		百株	百株	千フィリピンペソ	千円		
Philippine Seven Corporation		2,252	2,055	11,202	27,180	食品・生活必需品小売り	
小 計		株 数 ・ 金 額	2,252	2,055	11,202	27,180	
		銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 2.3% >	

銘柄		期首 (前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(シンガポール) Thai Beverage Public Co., Ltd.		百株 2,510	百株 2,510	千シンガポールドル 174	千円 16,141	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	2,510	2,510	174	16,141	
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 1.3% >	
(台湾) Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.		百株 980	百株 980	千新台幣ドル 50,960	千円 218,592	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	980	980	50,960	218,592	
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 18.2% >	
(アメリカ) Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR		百株 34	百株 34	千アメリカドル 280	千円 35,604	小売 小売 各種金融 メディア・娯楽 メディア・娯楽
Vipshop Holdings Ltd Sponsored ADR		54	—	—	—	
Noah Holdings Ltd. Sponsored ADR Class A		27	14	23	2,933	
Bilibili, Inc. Sponsored ADR Class Z		22	11	20	2,610	
Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A		54	54	385	48,917	
小 計	株 数 ・ 金 額	191	113	709	90,066	
	銘柄数 < 比率 >	5	4	—	< 7.5% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	115,572	114,160	—	1,169,748	
	銘柄数 < 比率 >	23	25	—	< 97.4% >	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

スパークス・アジア厳選投資マザーファンド

第 5 期

決算日 2022年1月26日

(計算期間：2021年1月27日～2022年1月26日)

「スパークス・アジア厳選投資マザーファンド」は、2022年1月26日に第5期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	アジア企業(除く日本)の株式またはアジア地域(除く日本)の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	① 株式等への投資割合には、制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2017年2月3日	10,000	—	1,066.90	—	—	500
1期(2018年1月26日)	12,785	27.9	1,494.39	40.1	92.3	1,506
2期(2019年1月28日)	11,197	△12.4	1,254.82	△16.0	95.6	1,340
3期(2020年1月27日)	12,580	12.4	1,402.99	11.8	98.2	1,237
4期(2021年1月26日)	18,395	46.2	1,820.83	29.8	95.3	1,586
5期(2022年1月26日)	16,199	△11.9	1,725.57	△5.2	99.2	1,412

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注2) 設定日の MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)は、設定日前営業日(2017年2月2日)の値です。

(注3) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia ex Japan Index(円ベース)」です。

(注4) MSCI AC Asia ex Japan Indexは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除くアジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC Asia ex Japan Index (円ベース)		株 式 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2021年 1月 26日	円 18,395	% —	1,820.83	% —	% 95.3
1 月 末	17,473	△ 5.0	1,758.95	△ 3.4	94.5
2 月 末	17,998	△ 2.2	1,812.34	△ 0.5	93.2
3 月 末	17,470	△ 5.0	1,832.31	0.6	91.3
4 月 末	18,298	△ 0.5	1,857.58	2.0	93.3
5 月 末	18,230	△ 0.9	1,882.01	3.4	93.4
6 月 末	18,964	3.1	1,907.80	4.8	94.8
7 月 末	17,642	△ 4.1	1,746.02	△ 4.1	95.2
8 月 末	17,780	△ 3.3	1,788.28	△ 1.8	96.0
9 月 末	18,119	△ 1.5	1,740.84	△ 4.4	97.8
10 月 末	18,870	2.6	1,803.31	△ 1.0	98.6
11 月 末	17,938	△ 2.5	1,726.33	△ 5.2	99.2
12 月 末	16,765	△ 8.9	1,760.39	△ 3.3	99.1
(期 末) 2022年 1月 26日	16,199	△11.9	1,725.57	△ 5.2	99.2

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は16,199円となり、第5期の騰落率は△11.9%となりました。



期 首	高 値	安 値	期 末
2021/1/26	2021/10/20	2021/12/21	2022/1/26
18,395円	19,618円	16,164円	16,199円

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドが投資している多くの市場の通貨は日本円に対して上昇し、基準価額の上昇要因となりました。また、香港市場や米国上場の中国株の下落が、基準価額の下落要因となりました。

■ 投資環境

2022年初にはFRB(米国連邦準備制度理事会)高官が、インフレ率の上昇を抑え込むため、利上げを2022年中に前倒しで実施する可能性があると言いました。この発言を受けてグロース株からバリュース株への入れ替えが進み、グロース株が下落しました。とりわけ変動が大きかったのがテクノロジーセクターで、成長性は引き続き前向きに受け止められているものの、バリュエーションの高さが不安視されたことから下落しました。一方、中国ではPMI(購買担当者景気指数)や小売売上高といった経済指標から経済成長の鈍化傾向が鮮明となり、一段の金融緩和(利下げ)が発表されました。新型コロナウイルスの感染拡大、不動産セクターの業績不振、消費支出の低迷を背景に、中国A株市場ではヘルスケアセクター、情報技術セクター、再生可能エネルギーセクターを中心に急落しました。グロース株からバリュース株への入れ替えは、株式指数における情報技術セクターの配分比率が高い韓国や台湾の市場にも影響を及ぼしました。

■ ポートフォリオ

アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視しました。企業のファンダメンタルズを見極め、投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資しました。

(主なプラス要因)

インド最大の電力取引所を運営しているIndian Energy Exchange Ltd.(インド/各種金融)は上昇しました。同社は市場シェアをほぼ独占しています。同取引所は11日間までの短期契約に特化しています。インドの電力取引ではこれまで、買主と売主が個別に締結する長期購入契約が主流でした。電力消費者や送配電業者は一般にピーク需要量で契約を締結するリスクを避けるため、ベースロード需要は長期市場で賄い、短期契約は一時的な不足を補うためだけに使用するのが一般的です。したがって、経済減速の兆しが現れると真っ先に供給量の増加分を減らしたいという心理が働き、短期電力市場の需要の振れ幅が拡大する傾向があります。しかし、インドの電力市場では、送電能力が増強されて混雑が緩和されたり電力取引所が登場したことなどの要因で構造転換が進み、短期契約の活用が拡大しています。

Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. (台湾／情報技術)は、5Gの普及(スマートフォンと基地局がいずれも成長)、クラウドコンピューティング、IoT(モノのインターネット)といったメガトレンドの加速を受け、好調な決算発表を行い上昇しました。成功要因は、三つの戦略(①技術的優位の維持、②他社より優れた製造方法の採用、③顧客の信頼獲得)をとったことにあります。小型で高性能な半導体チップを製造する上での技術的障壁はますます高くなっており、他社の参入を阻む高い壁となっています。

(主なマイナス要因)

Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A(シンガポール／メディア・娯楽)の2021年第3四半期(7-9月)決算は、eコマース(電子商取引)事業は予想を上回って業績に貢献しましたが、ゲーム事業の通期計画を上方修正しなかったことで市場に失望感が流れ、ゲーム事業の成長性に対する懸念が高まり下落しました。同社の業績発表に続いて米国のテクノロジー関連銘柄全般が下落したことも、同社株の下落幅の拡大要因になりました。

WuXi AppTec Co., Ltd. Class H(中国／医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)とWuxi Biologics (Cayman) Inc. (中国／医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)は、米国政府が「中国軍と関係のある中国の一部バイオテクノロジー関連企業を商務省の取引禁止リストに記載する」という噂が市場関係者の間に広がったため下落しました。両社と他の中国系製造請負企業(CDMO)は、噂が流れた当日に「中国軍関連企業との取引関係はない」という趣旨の声明を発表しましたが、両社の株価は15-20%下落しました。結局、取引禁止リストに記載されるのは中国軍が所有する研究機関であることが判明し、両社の株価は多少回復しましたが、市場心理の悪化を受け、全面的回復には至りませんでした。

■ 今後の運用方針

引き続き、アジア経済の成長から恩恵を受けるアジアの優良企業に重点的に投資し、インフラ、消費者、革新的テクノロジーといった長期的テーマを注視します。企業のファンダメンタルズを見極め、次なる投資機会を積極的に掘り起こして、厳選投資します。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2021年1月27日～2022年1月26日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4円 (4)	0.022% (0.022)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	19 (19)	0.106 (0.106)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	24	0.134	
期中の平均基準価額は17,962円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2021年1月27日から2022年1月26日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	イ ン ド	百株 212 (1,674)	千インドルピー 35,308 (-)	百株 - (-)	千インドルピー - (-)
	香 港	百株 230 (234)	千香港ドル 723 (12,417)	百株 280 (162)	千香港ドル 890 (12,424)
	シ ン ガ ポ ー ル	百株 -	千シンガポールドル -	百株 514	千シンガポールドル 37
国	イ ン ド ネ シ ア	百株 -	千インドネシアルピア -	百株 160	千インドネシアルピア 542,674
	ア メ リ カ	百株 79	千アメリカドル 474	百株 8	千アメリカドル 73
	韓 国	百株 10	千韓国ウォン 85,871	百株 -	千韓国ウォン -

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	151,685千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,527,992千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.09

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 主要な売買銘柄 (2021年1月27日から2022年1月26日まで)

株 式

買 銘 柄	付			売 銘 柄	付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ICICI Lombard General Insurance Co. Ltd.(インド)	14.945	33,492	2,241	Vitasoy International Holdings Limited(香港)	28	12,683	452
Bilibili, Inc. Sponsored ADR Class Z(アメリカ)	2.2	27,811	12,641	Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A(アメリカ)	0.2	5,126	25,634
Reliance Industries Limited(インド)	6.317	19,507	3,088	PT Bank Central Asia Tbk(インドネシア)	16	4,178	261
Vipshop Holdings Ltd Sponsored ADR(アメリカ)	5.4	16,721	3,096	Thai Beverage Public Co., Ltd.(シンガポール)	51.4	3,085	60
Medlive Technology Co., Ltd.(香港)	23	10,191	443	Noah Holdings Ltd. Sponsored ADR Class A(アメリカ)	0.6	2,965	4,943
Samsung Electronics Co., Ltd.(韓国)	1.033	8,466	8,196				
Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR(アメリカ)	0.3	7,452	24,842				

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年1月27日から2022年1月26日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2021年1月27日から2022年1月26日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2021年1月27日から2022年1月26日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2022年1月26日現在)

外国株式

銘柄		期首 (前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(中国) Jonjee Hi-Tech Industrial and Commercial Holding Co., Ltd. Class A		百株 324	百株 324	千中国元 1,057	千円 19,003	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	324	324	1,057	19,003	
	銘柄数<比率>	1	1	-	< 1.3% >	
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円	
Li Ning Company Limited		400	400	3,186	46,579	耐久消費財・アパレル
JD.com, Inc. Class A		-	7	216	3,162	小売
Vitasoy International Holdings Limited		280	-	-	-	食品・飲料・タバコ
Yihai International Holding Ltd.		250	250	861	12,591	食品・飲料・タバコ
Ping An Healthcare and Technology Company Limited		104	104	274	4,006	ヘルスケア機器・サービス
Medlive Technology Co., Ltd.		-	230	368	5,380	ヘルスケア機器・サービス
WuXi AppTec Co., Ltd. Class H		322	386	4,791	70,049	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
Wuxi Biologics (Cayman) Inc.		660	660	5,646	82,548	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AIA Group Limited		1,040	1,040	8,876	129,772	保険
Tencent Holdings Ltd.		162	162	7,562	110,558	メディア・娯楽
小 計	株数・金額	3,218	3,240	31,781	464,650	
	銘柄数<比率>	8	9	-	< 32.9% >	
(インドネシア)		百株	百株	千インドネシアルピア	千円	
PT Nippon Indosari Corpindo Tbk		105,032	105,032	14,651,964	117,215	食品・飲料・タバコ
PT Bank Central Asia Tbk		160	-	-	-	銀行
小 計	株数・金額	105,192	105,032	14,651,964	117,215	
	銘柄数<比率>	2	1	-	< 8.3% >	
(インド)		百株	百株	千インドルピー	千円	
Reliance Industries Limited		16	79	18,940	28,979	エネルギー
Kotak Mahindra Bank Limited		118	118	21,938	33,566	銀行
HDFC Bank Limited		155	155	23,155	35,427	銀行
Indian Energy Exchange Ltd.		837	2,512	59,971	91,757	各種金融
ICICI Lombard General Insurance Co. Ltd.		-	149	20,118	30,780	保険
小 計	株数・金額	1,128	3,015	144,125	220,511	
	銘柄数<比率>	4	5	-	< 15.6% >	
(韓国)		百株	百株	千韓国ウォン	千円	
DOUZONE BIZON CO.LTD		15	15	87,477	8,327	ソフトウェア・サービス
Samsung Electronics Co., Ltd.		127	137	1,018,166	96,929	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株数・金額	142	152	1,105,643	105,257	
	銘柄数<比率>	2	2	-	< 7.5% >	

銘柄		期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等	
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
(フィリピン) Philippine Seven Corporation		百株 2,252	百株 2,252	千フィリピンペソ 19,600	千円 43,526	食品・生活必需品小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,252	2,252	19,600	43,526		
	銘柄数<比率>	1	1	—	< 3.1% >		
(シンガポール) Thai Beverage Public Co., Ltd.		百株 3,024	百株 2,510	千シンガポールドル 163	千円 13,820	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	3,024	2,510	163	13,820		
	銘柄数<比率>	1	1	—	< 1.0% >		
(台湾) Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.		百株 980	百株 980	千新台湾ドル 62,818	千円 257,955	半導体・半導体製造装置	
小 計	株 数 ・ 金 額	980	980	62,818	257,955		
	銘柄数<比率>	1	1	—	< 18.3% >		
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円		
Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR		31	34	405	46,113	小売	
Vipshop Holdings Ltd Sponsored ADR		—	54	47	5,421	小売	
Noah Holdings Ltd. Sponsored ADR Class A		33	27	82	9,347	各種金融	
Bilibili, Inc. Sponsored ADR Class Z		—	22	75	8,567	メディア・娯楽	
Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A		56	54	782	89,087	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	120	191	1,392	158,538		
	銘柄数<比率>	3	5	—	< 11.2% >		
合 計	株 数 ・ 金 額	116,381	117,698	—	1,400,479		
	銘柄数<比率>	23	26	—	< 99.2% >		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2022年1月26日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	1,400,479	99.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,720	1.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,415,199	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお1月26日における邦貨換算レートは、1中国元=17.9749円、1香港ドル=14.62円、1インドネシアルピア=0.008円、1インドルピー=1.53円、1韓国ウォン=0.0952円、1フィリピンペソ=2.2207円、1シンガポールドル=84.71円、1新台湾ドル=4.1064円、1アメリカドル=113.84円です。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(1,407,840千円)の投資信託財産総額(1,415,199千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,419,752,424 円
コール・ローン等	14,720,279
株 式(評価額)	1,400,479,313
未 収 入 金	4,552,832
(B)負 債	7,507,149
未 払 金	4,553,552
未 払 解 約 金	2,953,577
未 払 利 息	20
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	1,412,245,275
元 本	871,808,033
次 期 繰 越 損 益 金	540,437,242
(D)受 益 権 総 口 数	871,808,033 口
1万口当たり基準価額 (C / D)	16,199 円

■ 損益の状況

当期 (自2021年1月27日 至2022年1月26日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	14,064,385 円
受 取 配 当 金	13,960,018
そ の 他 収 益 金	159,930
支 払 利 息	△ 55,563
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 205,150,929
売 買 益	219,959,708
売 買 損	△ 425,110,637
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,731,020
(D)当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 192,817,564
(E)前 期 繰 越 損 益 金	724,209,571
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	164,822,845
(G)解 約 差 損 益 金	△ 155,777,610
(H)合 計 (D+E+F+G)	540,437,242
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	540,437,242

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	862,694,364 円
期中追加設定元本額	205,304,427 円
期中解約元本額	196,190,758 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア厳選投資ファンド(適格機関投資家専用)	473,519,638 円
スパークス・新・国際優良アジア株ファンド	398,288,395 円

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

該当事項はありません。